

平成28年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について

このことについて、文部科学省初等中等教育局長から下記のとおり被表彰者を決定した旨通知がありました。

この表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果をあげた個人、学校及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。

なお、表彰式は10月27日（木）に開催される全国学校保健研究大会の中で執り行われます。

記

1 佐野日本大学高等学校 学校医（眼科）

松島 雄二 氏（80歳）

【功績概要】

昭和47年4月から現在までの44年間、佐野市内の学校で学校医を歴任し、児童生徒の眼疾病の早期発見に努めるとともに、感染症眼疾病の予防指導、テレビ・パソコン等による眼の疲労からの視力低下を防止する啓蒙活動に尽力し、学校保健の向上に貢献した。

2 真岡市立長沼小学校 学校歯科医

関 謙一 氏（67歳）

【功績概要】

昭和61年9月から現在までの30年間、真岡市内の学校で学校歯科医を歴任し、児童生徒の口腔に関わる疾病を予防するため歯科衛生の重要性の普及啓発と歯科医師会の実施する幼児や学童に対するフッ素塗布事業等に尽力し、学校保健の向上に貢献した。

3 那珂川町立小川幼稚園 学校薬剤師

森島 政清 氏（62歳）

【功績概要】

昭和58年4月から現在までの33年間、那珂川町内の学校で学校薬剤師を歴任し、児童生徒の健康で安全な環境づくりのため環境衛生検査に尽力し、的確な指導、助言を通して、学校保健の向上に貢献した。

4 栃木県立宇都宮北高等学校 校長

橋本 健一 氏（60歳）

【功績概要】

学校保健教育行政に19年間携わり、全国に先駆け新型インフルエンザ対応マニュアルを作成するなど、学校保健の適切な指導に尽力した。また、今年8月に本県で開催した関東甲信越静学校保健大会において、これまでの経験を活かして指導助言者を務め大会の成功に寄与し、学校保健の向上に貢献した。